

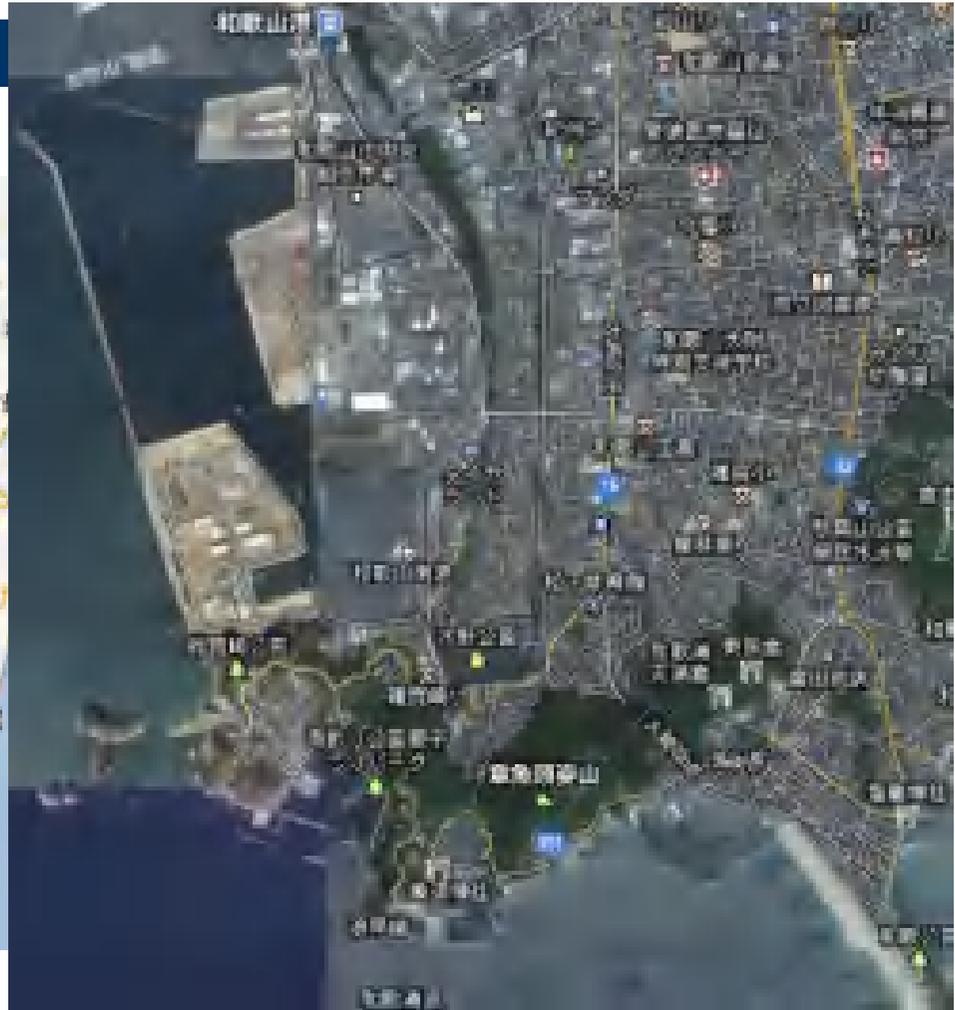
水軒の浜に松を植える会活動報告

水軒の浜に松を植える会

事務局長 奥津 尚宏

2013.3.2

和歌山県和歌山市



高津子山から の遠望今昔

平成24年



昭和29年頃
約60年前



肥ノ川河口から本野田河口にかけて、水村渚の白砂と松林が十字状の曲線を描いている。甲野部では、田畑の中央を本野田が直線状に流れているのがわかる。当時、この河口ではササリがたくさん殖えた。松林の右上の方にうろすると見える花王石鹼の工場は、戦時中の昭和17年に操業を開始。当時の社名は大日本鹼野であった。(原西正次氏撮影)

水軒の浜の思い出



古地図の水軒堤防

昭和2年発行
雑賀村誌より



発掘調査された
水軒堤防南端



古地図の水軒公園

昭和23年発行

水軒公園

現在は公園として
管理されていない



水軒の浜に松を植える会発足の経緯

- 平成19年に西浜中学校同窓会が学校創立60周年を記念して**みんなで地域の宝さがし**をテーマに西浜博を開催。地域を見直し、水軒の浜の現状に憂える。
- 同年、道路拡張にともない**史跡石積堤防**が発掘され、その価値の高さと保存が問題となる。
- 同年末、**トンガの鼻自然クラブ・浜友会有志、その他関心のある方々**が集まり水軒の浜について語り合う。
- **平成20年1月**。2つの団体のメンバーが中心になり、地元自治会の人も加わって水軒の浜に松を植える会が発足
- **平成21年2月 紀の国森づくり基金活用事業**で西浜中学校の**1年生198人**が松を植樹。3月に県知事・市長他が植樹。

水軒の浜に松を植える会の活動

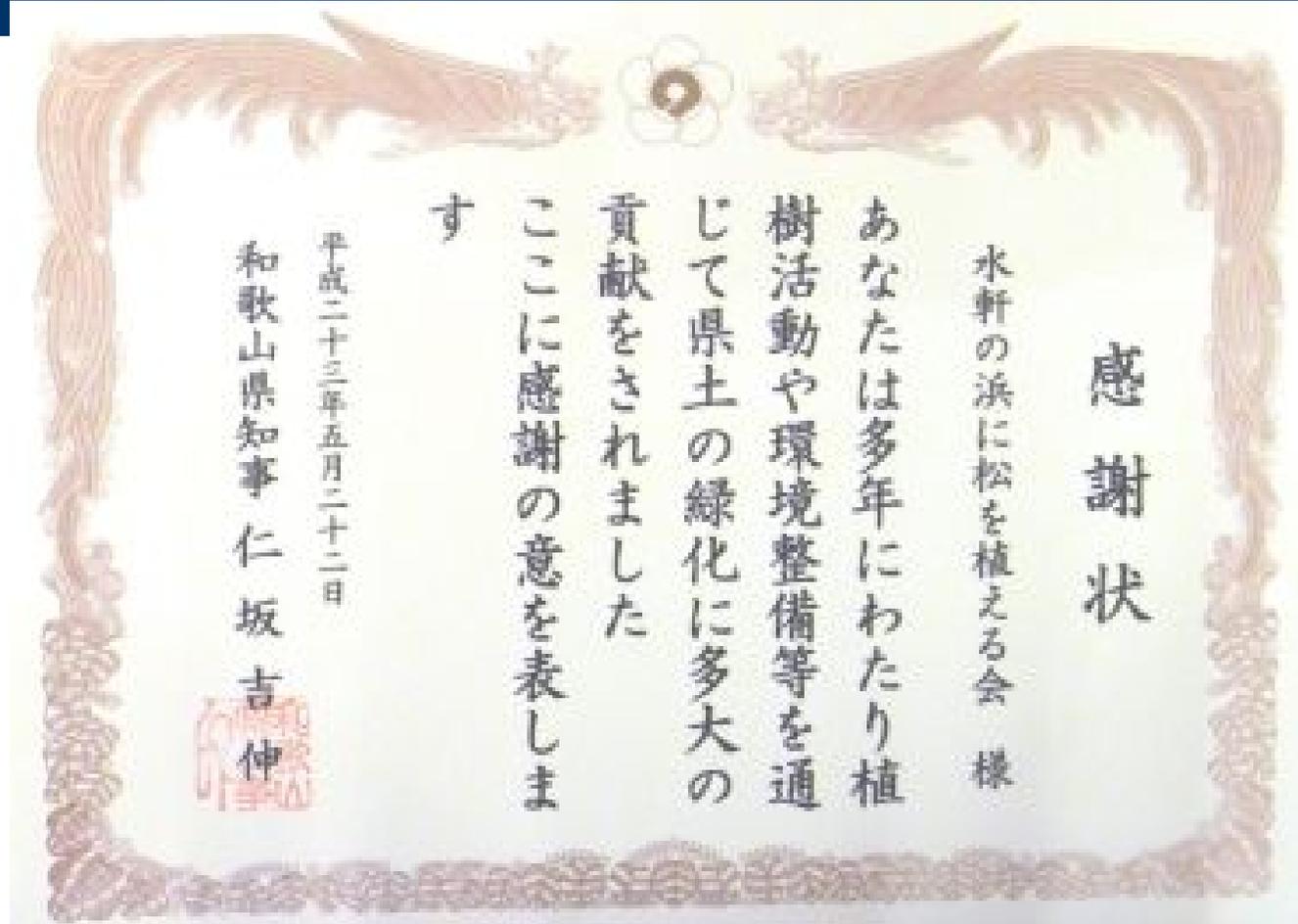
- **平成20年3月 記念植樹**として30本の抵抗性松を7本松に植樹。七本松とはこの場所に7本だけ松が残っていたので名づけた。抵抗性松とは松くい虫に強い松で、県の林業試験場から入手。
- **平成21年2月 紀の国森づくり基金活用事業**で一年間かけて、雑木とゴミを撤去して、整地を行い、西浜中学校の**1年生198人**が松を植樹。3月に県知事・市長他が植樹。
- 以後、3年間毎年一年生に松を植えてもらい、今年が5年計画の最終回。
- この間、南海電車の軌道撤去跡を中心にいろいろな施設も設置した、水軒公園として和歌山市が管理してくれるように働きかけている。平成28年には実現する見通し。

基本コンセプト

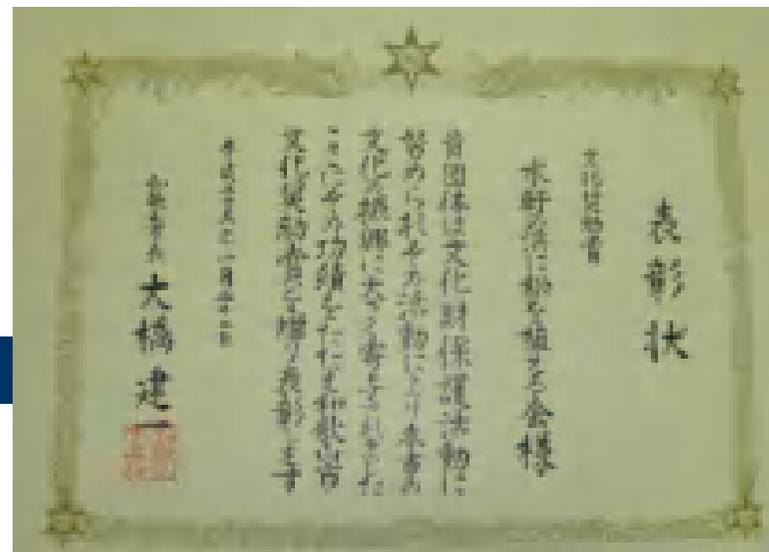
水軒の浜を、
史跡石積堤防、
白砂青松、
健康推進
をテーマとする
歴史公園

に！

平成23年5月全国植樹祭で緑化功労者として知事から感謝状を授与された



平成25年1月和歌山市文化奨励賞を受賞した



昨年の植樹 平成24年3月4日 一般・会員



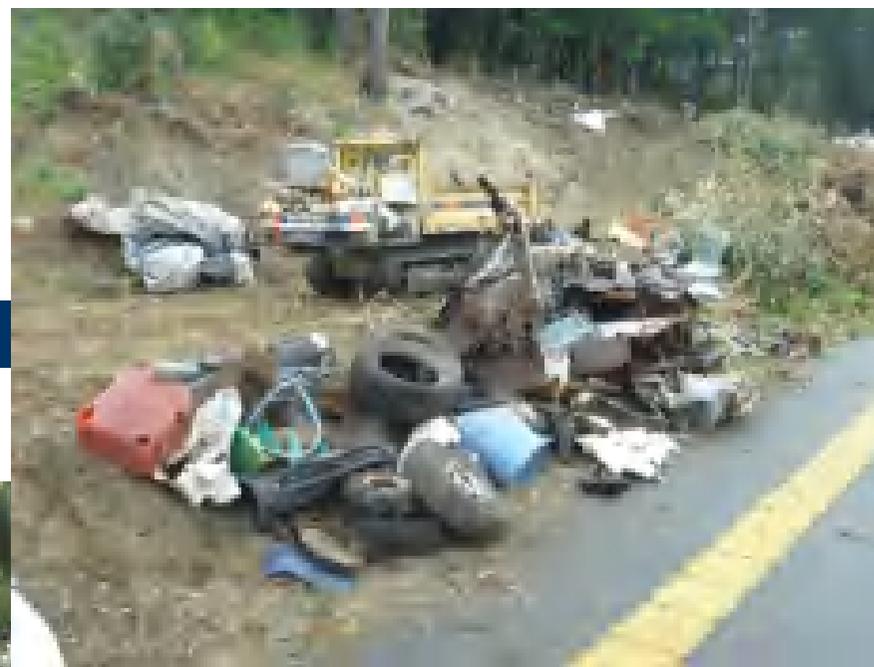
去年の植樹 平成24年3月10日



伐採整地作業前 と植樹後の比較



クリーン大作戦



整地作業



松植樹以外の取り組み1

クヌギの森、スポーツ砂場、健康遊具の森、桜の植樹



松植樹以外の取り組み2

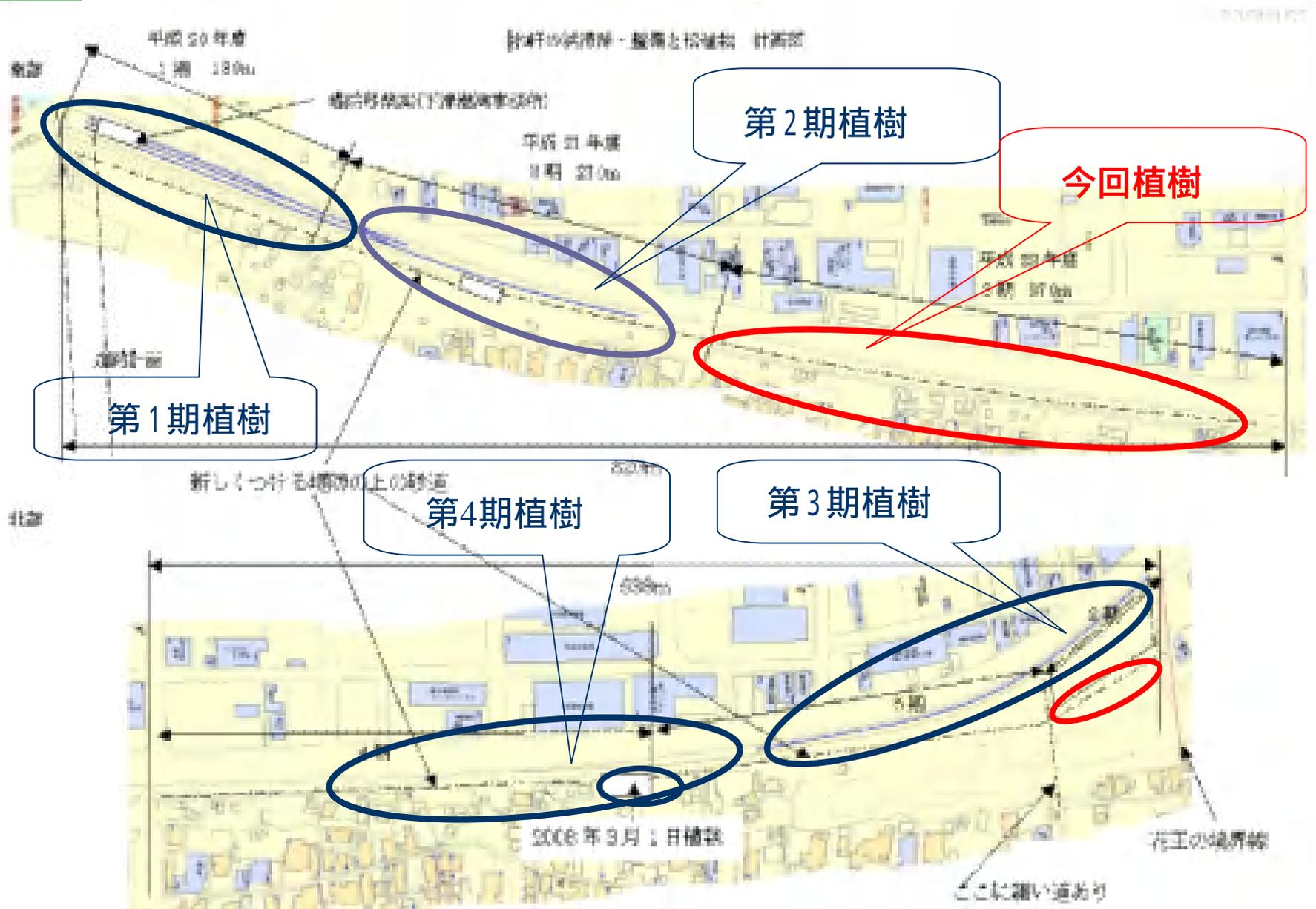
健康ひろば、スポーツ砂場、ドッグラン、フィールドアスレチック



松植樹以外の取り組み3 水軒堤防、松林の遊歩道と松の大木



松植栽全体計画



第1期(4年前)に植えた松(昨年12月)



これまでに植樹した松と残っている松

	植えた松		残っている松
● 平成20年3月	80本	7本松	47本
● 平成21年2月	350本	1期	334本
● 平成22年2月	401本	2期	387本
● 平成22年11月(宝くじ松)	40本	1、2期	30本
● 平成23年2月	404本	3期	357本
● 平成24年3月	430本	4期	336本
● 平成25年2月	554本	3,5期	323本
合計	2259本		1814本

今後の課題

- 市民活動として、継続的に維持管理に取り組む
 - * 草刈(遊歩道、施設内、松林)
 - * 設備の維持管理
 - * 松の継続的な植樹
- 行政に公園として管理してもらう
 - * 史跡としての管理
 - * 防災面からの活用
 - * トイレや駐車場の設置
 - * 維持管理体制